

つづけよう! 輝く鹿伏兎・郷づくり

第2次

加太の地域づくり計画

基本方針

美しい加太、元気な加太、
そして誇りある加太をつくれます

【中方針 1】
美しい郷づくり

【中方針 3】
誇りある郷づくり

【中方針 2】
元気な郷づくり

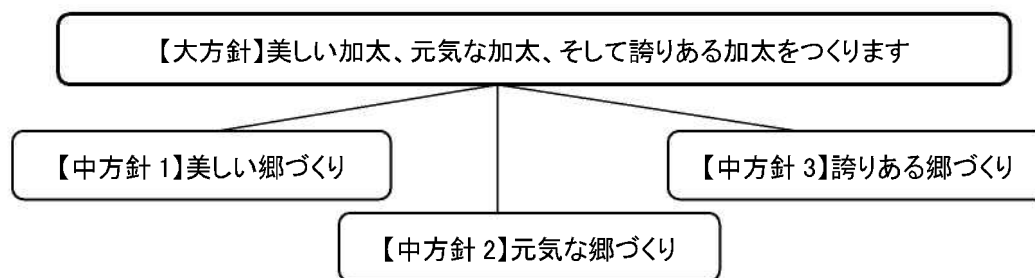
平成 29 年 4 月
令和 4 年 4 月見直し

加太地区まちづくり協議会

【地域づくり計画策定の経緯】

加太地域では、平成 5 年に「加太グリーンピア構想」が策定され、これに基づき「ゆめたうん梶ヶ坂」等の若者定住団地の造成・分譲、加太グリーンピア推進委員会による「加太小学校複式学級化対策」等の事業が進められてきた。しかし、年月が経過し、社会情勢が変化したこともあり、平成 16 年度より、加太地区地域づくり委員会において、加太公民館委員全員によるワークショップ形式の会議等を開き、できるだけ多くの意見を集め、概ね 10 年程度先までの当面進める「地域づくり計画」の策定を行い、地域づくりを推進してきた。

これが「第 1 次加太の地域づくり計画」である。



【第 1 次 加太の地域づくり計画の振り返り】

基本方針のもと、大方針と 3 つの中方針を掲げ、具体的な活動を展開してきた。しかし、後期計画への展開が不十分となり、活動のマンネリ化、硬直化等、活動が停滞してしまった。

(1)美しい郷づくり

- ・亀山森林公園(やまびこ)の開園
- ・桜、もみじ等の植林
- ・鉄道遺産をめぐる散歩みち
- ・竹、樹木等の伐採による加太川の保全

(2)元気な郷づくり

- ・山脈グループでの取り組み
- ・空家バンクシステムの構築
- ・高齢者福祉(敬老会、サロン等)
- ・交流イベント(加太秋まつり、運動会等)の開催
- ・ホームページの開設及び広報の定期発行

(3)誇りある郷づくり

- ・郷土歴史学習会
- ・加太越え鉄道遺産群の活用
- ・コミュニティスクールで地域と合体
- ・駐在所跡の活用(防犯拠点)

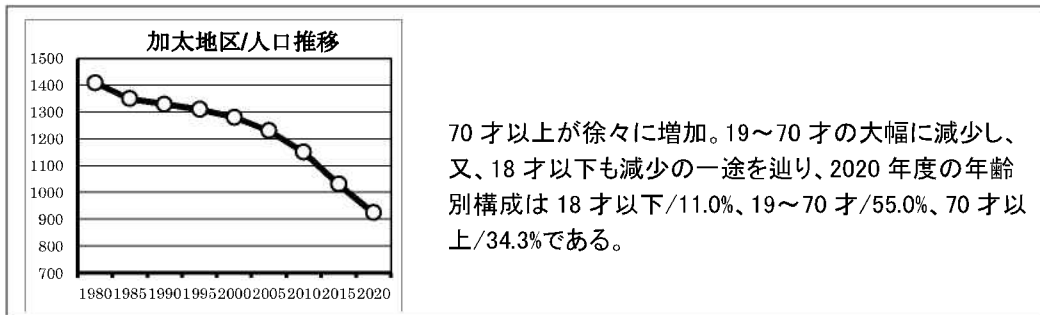


- ①組織的な活動ができず、取り組みも断片的であった。課題に対し、発展性が乏しい。
- ②交流イベントも加太秋まつり、運動会は継続されたが、活動に広がりを見られない。
- ③福祉活動は敬老会の継続、各地区でのサロン、自主的な有楽会等、広がりを見せたが、敬老会参加率は年々低下し、活動の方向転換等の見直しが必要である。
- ④「鉄道遺産を巡る散歩みち」の設定等、加太地域の資産である「加太越え鉄道遺産群」を生かす活動が芽生えてきたことは一つの明るい材料である。
- ⑤各活動のリーダー等の刷新が進まず、活動のマンネリ化、硬直化等、活動の停滞要因の一つとなっている。

地域づくり活動が継続され、スパイラルアップができていないのが現状である。

【第2次 加太の地域づくり計画策定に向けて】

「加太グリーンピア計画」では行政も巻き込んだ加太小学校複式化阻止を目的とした若者定住団地の造成分譲を行い、「第1次加太の地域づくり計画」では加太コミュニティが中心となり、地域活性化の取り組みを行ってきたが、活動のスパイラルアップには到らず、少子高齢化、人口減は益々進み、コミュニティ主体の活動にも限界を感じざるを得ないのが現状である。



しかし、亀山市では地方創生の柱として、「地域のことは地域で」の方針のもと、地域の末端組織として、「まちづくり協議会」を立ち上げ、住民主体の活動を展開することになった。この為、住民の多くの意見を反映させる為アンケート及びワークショップを行い、加太地域の課題、特性(資産)を洗い出した。

【加太地域の特性】

【特性1】 自然がいっぱいの加太！

- ・緑豊かな山林資源、美しい山村景観
- ・錫杖ヶ岳、不動滝
- ・鈴鹿川の源流、きれいな水、おいしい水
- ・空気が新鮮、星がきれい
- ・自然の生き物に出会える
- ・里山遊び、川遊びができる
- ・静かに暮らせる

【特性2】 歴史・文化が残る加太！

- ・歴史的資産/加太越奈良道
鹿伏兎城、川俣神社
- ・近代化産業遺産/鉄道遺産群
- ・伝統行事/太鼓踊り
- ・昔話、民話がある

【特性3】 農林業が身近な加太！

- ・うまい米 自給自足ができる
- ・優良な木材

【特性4】 交通条件に優れた加太！

- ・交通利便性は県下一の山間地
(名阪国道、JR 関西本線)
- ・中京圏、関西圏へのアクセス良好
- ・伊賀、津、鈴鹿、四日市への通勤圏

【個性5】 安全が自慢の加太！

- ・大規模な自然災害が起こりにくい
- ・犯罪が少ない
- ・災害時の水、食料の確保が容易

しかし…

【少子高齢化、人口減に伴う課題が噴出！！】 ①小学校の存続 ②空地・空家の増加
③農業等の後継者不足 ④地域内移動困難 ⑤地域組織の疲弊

【産業の衰退で自然破壊！！】 ①耕作放棄地の増加 ②山林の荒廃 ③獣害の増加

少子高齢化は自然の流れではあるが、加太の資源を生かすと共に、課題の改善に取組み、加太の魅力を醸し出し、地域内外に発信することで元気な加太を築き上げたい。『加太で生まれ、加太で育つ次の世代の住民に、豊かで希望に満ちた加太を引き継いで行きたい。これが私たちの願いです』

地域を統括するまちづくりとして、加太地区まちづくり協議会として、立ち上げたが、令和2年にそれぞれの役割を果たしながらの両輪体制(加太地区まちづくり協議会・加太地区自治会)に移行する共に、「地域の魅力づくり」「地域住民の交流」「高齢化対応」「地域の生活基盤の維持向上」に絞り込み、効果的な活動を目指した。尚、第2次亀山市歴史風致維持向上計画に加太地域(大和街道)が追加された為、連動し、加太地域のまちづくりを推進することにした。

【第2次 加太の地域づくり計画策定】

第1次地域づくり計画を踏襲し、加太地域の課題及び特性(資源)を生かしつつ、10年(平成29年度～平成38年度)計画を策定する。

尚、少子高齢化・人口減は自然の流れではあるが、この課題に対応しつつ、高齢者であっても生きがいを見出し、健康寿命を延ばす活動を推進したい。

【中方針1】 美しい郷づくり

☞緑豊かな自然環境は加太の魅力！

☞美しい郷をつくり、魅力的な加太をつくろう。

活動項目	活動内容	主担当	前期評価	後期取り組み
1-1 美しい山村の創出 (資源化)	①森林公園を活用した山林の魅力を創出する。 ・木をテーマにした遊び広場・施設(木登り、木渡り・・・) ・藤棚、アケビ棚等の季節感を感じる施設の設置 ②田園風景の保全と景観名所を創出する。 ・耕作地の維持と耕作放棄地の活用 ・景観名所の設定と創出	地域づくり部会	△	継続
1-2 加太川の保全と活用	①加太川の総点検を行い、景観阻害個所の整備を行う。 ②川遊びのできる場所を選定し、各自治会との役割分担で河川の草刈り、ゴミ拾い等整備・保全に努める。 ③加太川を活用したイベントを行い、意識の高揚をはかる。 ・川上り(下り)探検 ・流れを利用したボール流し等	地域づくり部会 交流部会	△	継続
1-3 集落をつなぐ散歩みち	①加太の魅力を感じる周遊コースを設定し、利用促進する。 ・加太越え鉄道遺産群コース ・神社、仏閣コース ・銘木コース ・景観コース ・山登りコース ②チラシ等を作成し、楽しみと健康維持の為の活用をはかる。 ③トイレ、休憩ベンチ等、散歩みち活用の環境整備をおこなう。	地域づくり部会	○	継続
(1-1)+(1-2)+(1-3)を実施することで、加太地域全体を自然公園と位置づける。				
1-4 野生動物との共存及び被害防止策	①モデル地域を決め、野生動物との共存に努力すると共に、効果的な被害防止策を模索する。 ・防護柵・捕獲も含めたモデル展開 ・捕獲、処理を含めたビジネスモデルの研究		×	中止
1-5 環境保全活動の推進	①地域全体のゴミ拾い活動(一斉清掃)を行う。 ②環境推進委員等に協力し、不法投棄を防止する。	自治会	△	加太地区自治会へ移行

【中方針 2】 元気な郷づくり

☞ 特産品づくりが加太を元気にする！

☞ 老若男女が元気に暮らせる加太をつくろう。

活動項目	活動内容	主担当	前期評価	後期取り組み
2-1 少子高齢・人口減への挑戦	①空家・空地の効果的活用をはかる。 ・民間業者との情報交換及び提携による移住促進 ・古民家としての活用促進(交流施設等) ②積極的な魅力発信による移住促進をはかる。 ・既移住者からの情報収集 ③加太小学校存続の方向性検討	地域づくり部会 広報部会	△	継続
2-2 交流行事の開催	①魅力あるイベントを開催し、地域内・外との交流をはかる。 ・(秋)特色ある秋まつりの継続開催 ・(春)川俣神社/枝垂れ桜まつりの開催 ・加太川を活用したイベントの開催 ・加太地域周遊コースを利用したイベントの開催 ②地域内の絆を高める為の交流イベントを開催する。 ・世代間交流(子供と高齢者等) ・若者主体の次世代交流 ・小学校、保育園と合体した地区運動会の開催 ③他団体との共催による交流行事の拡大をはかる。 ・農業団体(小山新田環境保全営農組合他) ・森林公園(やまびこ) ・峰の月邦楽演奏会	イベント・交流部会 教育育成部会 ↓ 交流部会 各種団体	○	継続
2-3 地域福祉活動の充実	①福祉活動の見直し及び再構築をはかり、自立をはかる。 ・敬老イベントの自主運営 ・健康寿命を延ばす為の健康づくり活動 ②同好会、クラブ等及びサロンへの活動支援を行う。 ③人々が集える場所づくり(古民家の活用等)	福祉部会	○	継続
2-4 特産品づくり	①既存農産物の生産継続への体制を維持する。 ・水稻 ・自然薯 ・しきみ ・きのこ ・梅 ②特徴ある特産品を模索し、生産意欲を高める。 ・小規模(休耕地の活用) ・趣味+アルファ⇒高齢者の楽しみ ・新規特産品の研究⇒情報交換会の開催 ③産直市場を開催し、地産地消を推進する。 ・日曜朝市、軽トラ市の不定期開催 ・既存店での産地直売 ・古民家の活用		×	中止
2-5 広報活動	①積極的な広報活動(地域内、地域外)による魅力発信 ・広報紙(まち協、かめやま等) ・インターネット ・テレビ、新聞等のメディア	広報部会	○	継続

【中方針 3】 誇りある郷づくり

☞ 子供が加太を誇りにしてもらえるように！

☞ しっかりとした自治基盤をつくろう。

活動項目	活動内容	主担当	前期 評価	後期取 り組み
3-1 伝統・文化 の継承	①加太の資産として、継承する。 ・無形民俗文化財としての太鼓踊り(かんこ踊り) ・尺八/都山流「峰の月」発祥の地 ②資料館等を整備し、保存・継承に努める。	教育・育成 部会 ↓ 地域づく り部会・他	△	継続
3-2 歴 史 資 産 の発掘	①歴史価値を掘り起こし、加太の資産とする。 ・加太越え奈良道/ルート探索と一部復元 ・鹿伏兎城/ルートの整備 ②近代化産業遺産の活用をはかる。 ・加太越え鉄道遺産群、加太駅/JR 西日本の協力にて	地域づくり 部会・他	○	継続
3-3 地域ぐるみの 子育て 支援	①コミュニティスクール”つむぎ”活動との協働を推進する。 ②保育園・幼稚園・学童保育との連携を密にする。	教育・育成 部会 ↓ 交流部会	△	継続
3-4 移動システム の再構築	①交通弱者を対象とした移動システムの構築と運用 ・コミュニティバス ・デマンド方式による自主運行 ・目的コースの設定等、利用しやすい運行を目指す	自治会	○	再検討
3-5 安心・安全 の確保	①加太地域の安全・安心レベルを高める。 ・防災/地震・風水害・土砂災害等への対応整備 ・防犯/監視体制の構築(R25 監視カメラの設置等) ・交通網/国道、県道、市道の安全対策の推進 ②防犯・防災意識を高める為の啓発活動を行う。 ・講演会、講習、実地訓練等 ③防犯拠点を活用した活動を強化する。 ・防犯拠点の維持(メンバーの確保等) ・関交番連絡協議会への参加による情報収集	安心・安全 部会 自治会 ↓ 自治会	○	加太地区 自治会へ 移行
3-6 地域づくり 推進組織 の強化	①継続した部会活動と特別テーマ活動等、柔軟な推進。 ・部会活動とテーマ推進組織との有機的結合 ②各部会を中心に目的を持った視察研修を実施する。 ・各部会活動の取組み事例としての視察研修 ③継続した人材確保の為の仕組み	本部 各部会	△	継続

10 年先、20 年先の加太地域の「なりたい姿」「あるべき姿」を描き、現状の流れを考慮しつつ、取り組みたい課題、施策をまとめた。当然、時期尚早の課題も混在するが、3 年先、5 年先を考え、課題の具現化をはかり、一歩ずつ進めていきたい。尚、具体的な実行計画は単年度の「加太地区まちづくり協議会事業計画」により、推進する。

加太地区まちづくり計画／前期の総括と今後の取り組み

第2次加太地域づくり計画（平成29年からの10年計画）の前期を総括し、後期の取り組みについての見直しを行い、第3次加太地域づくり計画へと展開する。

220324

加太の地域づくり計画				前期(H29～R3)での取り組み	後期での取り組み
方針	課題	活動内容	推進組織		
美しい 郷づくり	1-1 美しい山村景観の創出(資源化)	①森林公園を活用した山林の魅力を創出する。 ・木をテーマにした遊び広場・施設(木登り、木渡り・・・) ・藤棚、アケビ棚等の季節感を感じる施設の設置 ②田園風景の保全と景観名所を創出する。 ・耕作地の維持と耕作放棄地の活用 ・景観名所の設定と創出	地域づくり部会 (地域活性化支援事業)	①「サマーフォレストinやまびこ」及び桜苗木の植樹への協力 (H29、H30) ②猪元堰堤に鯉のぼり及びカイトの掲揚(R2) 地域活性化支援事業(山つつじ植樹)の実施(H30,R1)	継続
	1-2 加太川の保全と活用	①加太川の総点検を行い、景観阻害箇所を整備する。 ②川遊びのできる場所を選定し、各自治会との役割分担で河川の草刈り、ゴミ拾い等整備・保全に努める。 ③加太川を活用したイベントを行い、意識の高揚をはかる。	地域づくり部会 イベント・交流部会	・板屋川上流等の景観維持活動(H29,H30,R1)	継続
	1-3 集落をつなぐ散歩みち	①加太の魅力をを感じる周遊コースを設定し、利用促進する。 ・加太越え鉄道遺産群コース・神社、仏閣コース ・銘木コース・景観コース・山登りコース ②チラシ等を作成し、楽しみと健康維持の為の活用をはかる。 ③トイレ、休憩ベンチ等、散歩みち活用の環境整備をおこなう。	地域づくり部会	①加太越え鉄道遺産コース/加太鉄道遺産研究会にて継続中 (H27～)	継続
	1-4 野生動物との共存及び被害防止策	①モデル地域を決め、野生動物との共存に努力すると共に、効果的な被害防止策を模索する。 ・防護柵・捕獲も含めたモデル展開 ・捕獲、処理を含めたビジネスモデルの研究		特になし	中止
	1-5環境保全活動の推進	①地域全体のゴミ拾い活動(一斉清掃)を行う。 ②環境推進委員等に協力し、不法投棄を防止する。	自治会	特になし	自治会として継続
	2-1 少子高齢・人口減への挑戦	①空家・空地の効果的活用をはかる。 ・民間業者との情報交換及び提携による移住促進 ・古民家としての活用促進(交流施設等) ②積極的な魅力発信による移住促進をはかる。 ・既移住者からの情報収集 ③加太小学校存続の方向性検討	地域づくり部会 広報部会 教育・育成部会	①空家調査(R1)を実施したが、次のステップまでできず。 ③教育懇談会にて、意見交換(R3) ・特認校等の調査・模索	継続

元気な 郷づくり	2-2交流行事の開催	①魅力あるイベントを開催し、地域内・外との交流をはかる。 ・(秋)特色ある秋まつりの継続開催 ・(春)川俣神社/枝垂れ桜まつりの開催 ・加太川を活用したイベントの開催 ・加太地域周遊コースを利用したイベントの開催 ②地域内の絆を高める為の交流イベントを開催する。 ・世代間交流(子供と高齢者等) ・若者主体の次世代交流 ・小学校、保育園と合体した地区運動会の開催 ③他団体との共催による交流行事の拡大をはかる。 ・農業団体(小山新田環境保全営農組合他) ・森林公園(やまびこ) ・峰の月邦楽演奏会	イベント・交流部 会 教育・育成部会 各種団体	①秋まつりの開催(H29、H30,R1) ・津軽三味線奏者による生演奏(H30) ・大道芸人の曲芸(R1) ②加太小学校との共同による地区運動会の開催(H29,H30,R1) コミュニティスクール「つむぎ」への協賛活動(廃品回収、仕活動等 (H29,H30,R1) ゴルフコンペの開催(H29、H30,R1) 世代間交流「民話を楽しもう」の開催(H30) スポーツイベントの開催(R3)	継続
	2-3 地域福祉活動の充実	①福祉活動の見直し及び再構築をはかり、自立をはかる。 ・敬老イベントの自主運営 ・健康寿命を延ばす為の健康づくり活動 ②同好会、クラブ等及びサロンへの活動支援を行う。 ③人々が集える場所づくり(古民家の活用等)	福祉部会	①福祉施設の見学(H29,H30,R1) 敬老会の開催(H29,H30,R1) 75才以上/安心見守り訪問活動(H29,H30,R1,R2,R3) 75才以上一人暮らし/配食サービス(H29,H30,R1,R2,R3)	継続 ・高齢者自立支援 ・チョコボラ活動の展開
	2-4 特産品づくり	①既存農産物の生産継続への体制を維持する。 ・水稻 ・自然薯 ・しきみ ・きのこ ・梅 ②特徴ある特産品を模索し、生産意欲を高める。 ・小規模(休耕地の活用)・趣味+アルファ⇒高齢者の楽しみ ・新規特産品の研究⇒情報交換会の開催 ③産直市場を開催し、地産地消を推進する。 ・日曜朝市、軽トラ市の不定期開催 ・既存店での産地直売 ・古民家の活用		特になし	中止
	2-5 広報活動	①積極的な広報活動(地域内、地域外)による魅力発信 ・広報紙(まち協、かめやま等) ・インターネット ・テレビ、新聞等のメディア	広報部会	広報の発行(毎月)及ホームページでの情報発信(H29,H30,R1,R2,R3)	継続
誇りある 郷づくり	3-1 伝統・文化の継承郷 土歴史学習会の開催	①加太の資産として、継承する。 ・無形民俗文化財としての太鼓踊り(かんこ踊り) ・尺八/都山流「峰の月」発祥の地 ②資料館等を整備し、保存・継承に努める。	教育・育成部会	①尺八/都山流「峰の月」発祥の地として、歌碑設立の動きあり。	継続
	3-2 歴史資産の発掘加太 の伝統・文化の継承	①歴史価値を掘り起こし、加太の資産とする。 ・加太越え奈良道/ルート探索と一部復元 ・鹿伏兎城/ルートの整備 ②近代化産業遺産の活用をはかる。 ・加太越え鉄道遺産群、加太駅/JR西日本の協力を得て	地域づくり部会	第2次亀山市歴史風致維持向上計画として、加太地域が追加。 ①加太駅舎の改修⇒情報発信と交流の拠点として活用 ②鹿伏兎城の調査等	歴史風致維持向上計 画と連動 ・加太越え鉄道遺産群 ・加太越え奈良道 ・かんこ踊り
	3-3 地域ぐるみの子育て支 援	①コミュニティスクール“つむぎ”活動との協働を推進する。 ②保育園・幼稚園・学童保育との連携を密にする。	教育・育成部会		継続
	3-4 移動システムの再構築	①交通弱者を対象とした移動システムの構築と運用 ・コミュニティバス ・デマンド方式による自主運行 ・目的コースの設定等、利用しやすい運行を目指す	自治会 (公共交通WG)	①乗合タクシー活用説明会の開催し、会員登録の呼び掛け(R1) 自家用車活用による公共交通システムの模索(H30) ⇒見送り(R1)	再検討

	3-5 安心・安全の確保	①加太地域の安全・安心レベルを高める。 ・防災/地震・風水害・土砂災害等への対応整備 ・防犯/監視体制の構築(R25監視カメラの設置等) ・交通網/国道、県道、市道の安全対策の推進 ②防犯・防災意識を高める為の啓発活動を行う。 ・講演会、講習、実地訓練等 ③防犯拠点を活用した活動を強化する。 ・防犯拠点の維持(メンバーの確保等) ・関交番連絡協議会への参加による情報収集	安心・安全部会 自治会	①旧R25猪元橋カーブの立木伐採による視野確保(R2) ②出前講座「防災講座【大規模地震について】」の開催(H29) 防災講習会「土砂災害から身を守るために」(H30) 防災研修会「避難所ゲームHUG」(R1) 防災に関するアンケート(H30)⇒避難マニュアル等の発行(R1) ⇒避難行動等の見える化/モデル展開(R2) ③防犯拠点の活動として、旧駐在所への維持管理 (H29,H30,R1,R2,R3) ニッセイ財団から表彰される。(H29)	自治会として継続
その他	3-6 地域づくり推進組織 の強化	①継続した部会活動と特別テーマ活動等、柔軟な推進をはかる。 ・部会活動とテーマ推進組織との有機的結合 ②各部会を中心に目的を持った視察研修を実施する。 ・各部会活動の取組み事例としての視察研修 ③継続した人材確保の為の仕組み	本部 各部会	①自治会との両輪体制への移行及び重点志向への部会再編 ②地域づくり部会が実施したのみで効果は限定的である。 ③人材確保ができず、部会の再編及び他まち協も含めた現状調査等、亀山市全体の課題として問題提起。	継続
追加課題	支援事業の活用	①亀山市地域活性化支援事業への取り組み	本部	①イベント・スト及びカイト・マイクの導入(H29) 山つつじ等の植樹(H30～R1) 日本一周ウォーキング(R3)	継続

前期(H29～R3)の後半(R2-R3)の2年間はコロナ禍の為、計画した取り組みができず、十分な活動ができなかった。

しかし、第2次計画では、「美しい郷づくり」「誇りある郷づくり」「元気な郷づくり」の為の施策として、各部会等の組織活動に展開する為、具体的な施策を取り入れたが、従来からの流れを変えることができなかったのが現実である。しかし、加太地域が第2次亀山市歴史風致維持向上計画に組み込まれ、JR加太駅舎の改修等、新たな展開が芽生えてきた。

又、R2年度では自治会とまちづくり協議会が対等の立場で地域の為に取り組みを推進する両輪体制へと新たな推進体制に移行した。重点志向として、「地域の魅力づくり」「地域住民の交流」「高齢化対応」「地域の生活基盤の維持向上」に取り組むことにした。